

の「取組」を示す南薩地域将来ビジョンを平成22年3月に作りました。
 分野で活躍されている住民・団体の皆さんの取組について紹介します。

🌸 自転車事故から児童を守る(小学校の取組)

南さつま市立長屋小学校 山之口 信幸 校長, 自転車クラブ顧問 稲垣 明 教諭

南さつま市加世田は、もともと自転車のまちとして有名ですが、小学生の自転車事故ゼロを目標に、交通規則や安全な乗り方を学ぶ取組を行っています。

長屋小学校においては、交通安全子ども自転車大会を目標として、交通法規の勉強と、基本的な乗り方やS字、デコボコ道走行の実技の練習に励んでいます。鹿児島県大会では、平成23年度から3年連続で優勝し、全国大会に出場することができました。全校児童27人の小規模校の頑張りが、地域の交通安全のモデルになっていると思います。

また、卒業後は、加世田中学校へ自転車通学する児童が多いので、この取組をとおして、安心して送り出すことができます。



第48回交通安全自転車全国大会出場



大会での自転車実技



学校での交通法規学習



6年生の稲垣 陽太君(元キャプテン)と竹宮 成美さんから後輩への言葉
 (二人は、現在、サポーターとして後輩の指導を行っています。)

練習は厳しいけれど、頑張った分、結果がついてくるので、失敗してもくじけなくて前に進んで欲しい。来年の大会でも笑顔で表彰を受けてもらいたい。

🌸 交通事故から住民を守る(交通安全協力員の取組)

指宿市開聞仙田 谷村 弘行さん

平成17年度から指宿市交通安全協力員として、開聞小・中学校の子どもたちを交通災害から守るため、朝の通学時間帯に枚間神社前の交差点で交通安全指導を行っています。また、高齢者の交通事故防止のため、指宿地区交通安全協会と地域の集会所等で交通安全講習会を開催し、教育活動及び夜光反射材の配布等も行っています。

菜の花マラソンなど市のイベントがある際も交通整理等を行い、事故防止に努めています。

交通安全指導を行っているなかで感じることは、やはり小学校低学年の児童は、横断時の左右確認が不足しているため、まわりの方の配慮が必要であるということです。また、高齢者は、暗い色合いの服装の方が多く、朝晩の暗い時間帯に出歩く際は、明るい服装で、夜光反射材を着用してもらいたいということです。

朝の交通安全指導は大変ですが、子どもたちとも顔なじみとなり、あいさつや雑談を交わしたりすることが楽しみとなっています。



枚間神社前で朝の交通安全指導をする谷村さん



全国交通安全運動立哨



高齢者の交通事故防止「つけてますか? 運動」

地域の安全は地域で守る(校区自治公民館連絡協議会の取組)

指宿市柳田校区自治公民館連絡協議会会長 竹下 章雄さん



防災マップは、平成26年度完成予定



DIG(ディグ)災害想定訓練

DIGとは：災害(Disaster)、想像力(Imagination)、ゲーム(Game)



防災訓練

市立柳田小学校区内にある12の自治会では、地域防災マップの作成を進めているところですが、そのきっかけとなったのは、子どもたちが自分たちの住む地域の様々な特色を一生懸命調べて「やなぎた十二ひと絵図」を作成したことです。大人たちがこれまで気付かなかったことについて改めて気付かされることとなりました。

巨大地震等の災害から自分自身の身を守っていくためには、地域の危険箇所等の問題点を「発見」することが大切です。また、これらの問題点を落とし込んだ地図を基に、災害発生時の対応について検討することが、更なる「発見」につながります。

これらの情報を地域住民全体で共有することにより、自分がしなければならぬこと(自助)、自分たちが互いに助け合っなければならぬこと(共助)の気づきを促し、地域全体で支え合っていく仕組みを作っていくことが、最終的な目標となっています。

女性視点で災害から市民を守る(消防団の取組)

枕崎市消防団 俵積田 尚子 班长

私たちが消防団員になったのは、全国女性消防操法大会に出場するための女性隊員の募集に応募したことでした。私たち12名の女性隊員は、消防操法の訓練を受け、平成23年には、鹿児島県代表として同大会に参加し、敢闘賞を受賞しました。

「現場でも、自分たち女性ができることがあるのではないかな。もっと地元に貢献したい。」という強い思いから、大会出場後も消防操法訓練だけでなく、応急手当等の訓練、防災キャンペーンへの参加等の活動が続け、平成25年4月、枕崎市で初めての女性消防団員として辞令を交付されました。

通常の活動としては、一人暮らしの老人宅への防火指導等の予防業務、応急手当普及などを中心に活動し、災害時には災害弱者等の安全確保や連絡体制の確立を図るとともに、避難所の運営等に当たっては、男女のニーズの違いを踏まえた女性ならではの視点での活動が行えるよう努めています。

火災防止のために

- ・住宅用火災報知器を設置しましょう。
- ・火を使っているときは、目を離さないようにしましょう。
- ・仏壇のロウソクに注意しましょう。



枕崎市女性消防団員制服交付式



消防操法訓練



防災キャンペーン